

第2510地区 第11グループ



2005~2006

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2005~06年度
国際ロータリーのテーマ

超我の奉仕



2005~06年度
国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・
ステンハマー

増田 定雄 会長 テーマ 温故知新 — ロータリーに愛を —



11月16日卓話 中山 一郎 氏

《第2037回例会》 第20号 11月30日(水)

本日のプログラム

卓話「生活習慣病の予防について」

函館市役所 保健所健康増進課 主査 加藤 美子 氏

★会 長 増 田 定 雄 ★幹 事 増 山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870



おもてなしのところで・・・

仕出し料理の
いしほし
☎41-1484
よい いしほし

(広告掲載：石橋 輝夫 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎11月2日出席報告

会 員	33名	出席率対象会員	33名
		出席規定免除会員	0名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	19名	当日欠席	14名
他クラブ出席	7名	出席合計	26名
出席率		78.79%	

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・12月7日 プログラム	「2005～2006年度 年次総会」
-------------------	--------------------

11月16日の記録

◎司 会 増田 定雄 会長

◎齊 唱 手に手つないで、四つのテスト

◎ゲ ス ト 函館青年会議所 理 事 長 中山 一郎 氏
" 副 理 事 長 田村 且法 氏
" 事 業 委 員 長 藤澤 義博 氏

◎ビジター 函館五稜郭R.C.大日向豊吉君・高橋 清 君

◎会長報告 増田 定雄 会長

○ガバナーより、それぞれの分区でIMをやってほしいとの通達があり、幹事会で検討した結果、4月22日、10・11分区合同で行うこととなりました。尚会場は未定です。

◎委員会報告

●親睦活動委員会 茂木 政雄 委員長

12月21日クリスマス家族会を行います。時間は午後6時30分より、会員は全員登録で、本人は8,000円、中学生以上の方は1,000円、小学生以下の方は無料、又、ピンゴ大会を行いますので、会員の方は景品1個を進呈していただきたいと思います。たくさんの参加をお願い致します。

◎幹事報告 増山 正 幹事

○次週23日の例会は祝日休会です。

◎親睦活動委員会 茂木 政雄 委員長

ニコニコBOX投入報告

増田 会長……ロータリーに愛を。

増山 幹事……函館青年会議所 中山理事長、田村副理事長、藤澤委員長を歓迎して。

山下(浦)会員…… "

柴崎 会員……また孫が生まれました。

藪下 会員……皆さん健康で。

新 会員……健康診断受けました。

森 会員……ロータリーに愛を。

南木 会員……寒くなりましたね。

千葉 会員……もう最後かも。

鈴木 会員……ロータリーに愛を。

小笠原会員…… "

今井 会員……結婚記念日のお花ありがとうございます。

◎卓話 「クリスマスファンタジーについて」

函館青年会議所 理事長 中山 一郎 氏

副理事長 田村 且法 氏

事業委員長 藤澤 義博 氏

皆様こんにちは。

このクリスマスファンタジーについて、毎年お伺いをし、お世話になっており、ご説明をさせていただいておりますので、先に私共函館青年会議所がやっている事業について、お話をさせていただきます。

私共函館青年会議所は、昭和25年の設立で55周年を迎え、6月に記念式典を開催させていただきました。この55周年ということについては、皆様諸先輩たちが築き上げてきていただいたことに感謝し、少しでも地域の皆様に還元をしたいということで、今年度、冠事業として「夜廻り先生」というニックネームで呼ばれている横浜の戸塚高校定時制の教諭をしておられる水谷豊先生をお迎えし、市民会館で約1,200名の皆様に水谷先生が夜繁華街を歩き回って、シンナーや覚醒剤をやっている子供達に声をかけて「やってしまったことは忘れて、立ち直っていこうよ!!」と毎晩、語りかけて青少年を立ち直らせたというお話をさせていただきました。

又、毎年J Cデーを開催していますが、今年は昨今の若者はゲームや家で遊ぶような内にこもっている生活をしているのではないかとということで、少しでも外に出てあげてもらいたいという願いをこめて「タグラグビー」という新しいスポーツで、腰にリボンをつけて、そのリボンをとったらパスをしなければならぬという、今、全日本のラグビー協会が一生懸命になって普及につとめているスポーツで、そののち、ラグビーを好きになってもらいたいというもので、その教室を9月に根崎のラグビー場で開催いたしました。約150名の小中学生が参加して、大変活発にやっていただきました。

それで、今回のクリスマスファンタジーについてですが、函館がこれから、生きていくためには、1泊2日から2泊3日、3泊4日という観光にかえて行こうということで、3町1村の合併で新函館市が誕生したこともありまして「函館再発見プログラム」ということで、4月に競輪場のシアターで新しいタイプの観光のパターンを皆様に提案いたしました。

又、このクリスマスファンタジー事業は、大変資金を必要とするわけですが、現状で予算は4,500万円、そのうち函館市と渡島支庁から補助金が1,600万円で約3,000万円弱が皆様からの協賛金、寄付金、そしてクリスマスグッズの販売における利益分でまかなっております。

当初は、函館青年会議所が主催しておりましたが、現在は国際観光コンベンション協会に実行委員長をしていただき、副実行委員長に私共函館青年会議所を含めた市内の各青年団体がそれぞれ担当していただいております。

私共函館青年会議所は、12月1日のオープンセレモニーと12月25日のファイナルセレモニーを担当させていただいております。是非、皆様も一緒に参加していただきたいと思っております。

本日はたいへんありがとうございました。

(会報担当者：藤田 正男 委員)